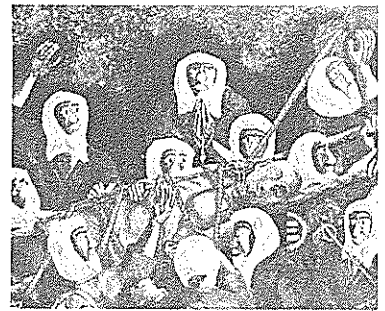


# 目立つ新しい顔ぶれ

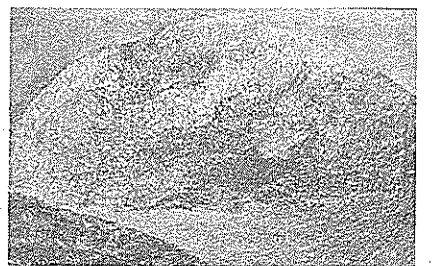
## さびしかった新設の

### 「商業美術」

#### 第17回南国市美術展



洋画「地蔵供養の頃」池知隆



洋画「とばり」入交啓

第十七回南国市美術展は、十一月二十七日から二十四日までの八日間、市民体育館で開かれ、約八千六百名の観客が訪れるなど好評のうちその幕を閉じました。

今回の搬入作品は、一般、児童の部を合わせて一万二千五百四十三点、このなかから二千六百六十点が選ばれ展示されました。

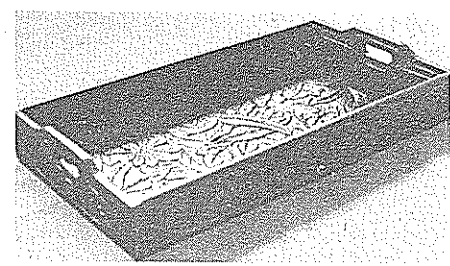
一般の部の審査は、筒井康道(洋画)、田岡耕作(日本画)、森光喜(彫塑工芸)、平山昌幸(漫画)、安部莊堂(書道)、松村一位(写真)、平山昌幸(商業美術)の各部門の審査員により行われ、特選八点、奨励十六点、奨励賞七点が選ばれました。また、入選は百九十七点でした。

幼児・児童・生徒の部では、特選百九十四点、入選二千二百六十六点でした。



日本画「真ちゃん」吉永 三重

例年に比べて、大作が少ないのがさびしいが、内容的には進歩のあとがみられるのではあるまいか。



彫塑・工芸「乱れ箱」北村 美都子

と大差はないようであるが、新しい顔ぶれもあり、それに作品が大きくなって力作が目出でてきたので、この点活気がある。

作品の傾向も安易な写生的なものでなく、表現しようとする対象へのとりくみの姿勢に積極性もみえだしてきたのではなかろうか。

◆：日本画：◇

特選 吉永三重(野市町)「真ちゃん」

奨励賞 野口須磨子(下野田)「あき」

柴田香(後免町)「洋蘭」

田島悦巳(大地)「鶴高初雪」

橋詰正利(植田)「石橋遺望」

伊尾木正太郎(折年)「梅」

◆：洋画：◇

特選 池知隆(藤原)「地蔵供養の頃」

入交啓(藤原)「とばり」

奨励賞 川添俊明(岡豊町)「K」の

ファンタジー(唐尾秀八京)「秋」

栗尾俊広(藤生)「石炭工場」

無鑑査

山崎次(大地)「塔のある町」

田島悦巳(大地)「ローマの遺跡」

島村義一(片山)「過

疎の老夫婦」武内光

仁(高知市)「夜空

のためいき」橋詰正

利(植田)「風景」

細川義彰(下野田)

「水門」

◆：漫画：◇

奨励賞 葛目義人(岡豊町)「不況にさ

まよう新卒」

無鑑査 沢本英世(里改田)「朝帰り」

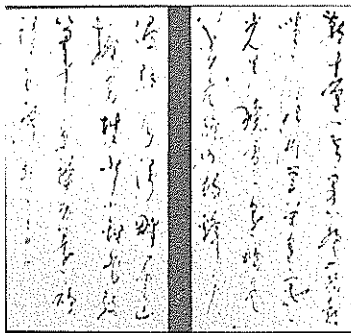
「歴史」

◆：書道：◇

特選 徳政寛明(化先)

仁恵不巖(之治)

穂如清風(耕桑)



書道「烽火」橋田 影月

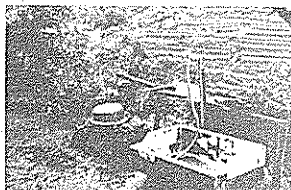
徳政寛明(化先)  
仁恵不巖(之治)  
穂如清風(耕桑)  
有敬讓之高朝  
市無鞭撻之刑

書道「節文公臨」関田 冬果

北村起章(立田)「だ  
たかい」  
原孝士(王佐山田町)  
「行者たち」土居正道  
(立田) 岡野 水田  
貴士(岡豊町)「飛び  
たち」



写真「ふるさと」岡本 守正



写真「浜辺」山本 清志



選、褒状をとった人もおり、国際展などで研さんしている人もいます。これらの人々の指導を受け、また井の中の蛙にならないう中央の作品にもより多く接し、写真雑誌でも学び、写真に對する目を養うと共に、写真の流れを把握されるよう努力していただきます。

今年は大作も多く地方展としては充実した作品ぞろいで、入賞決定にはかなり苦労した。

◆：写真：◇

特選 山本清志(高知市)「浜辺」岡

本守正(大地)「ふるさと」

奨励賞 竹内健二(里改田)「岡波踊り」

友永壽(藤生)「川原に遊ぶ」藤

田威佳志(大地)「追跡

今年度の出品作品につ

◆：書道：◇

特選 徳政寛明(化先)

仁恵不巖(之治)